あるこ！

九州自然歩道の旅⑪

福島　優

前回（5月15日付）は、全長約3千キロの「九州自然歩道」で福岡県添田町の緑川地区から東峰村・小石原までの歩き旅でした。今月は馬見山縦走ルートへと歩を進めます。

道の駅小石原を出発し、国道211号を2キロほど北上すると馬見山（977メートル）への登山口が見えます。ここから馬見山、屏山（926メートル）、古処山（859メートル）を経て同県朝倉市・秋月に抜ける縦走ルートの始まりです。さっそく馬見山登山。人工林の中を登っていくと、薄暗い森の稜線へ着きます。なだらかな稜線を約5キロ歩くと山頂に到着。残念なことにこの日は曇り空。山頂から景観が望めませんでしたが、南方に開けた眺望はきっと素晴らしいことでしょう。次回登るときの楽しみにとっておきます。

次に屏山へ向かうため、急な下りもある道を歩きます。手前の急坂から屏山と古処山が見えてきます。これからそれらの山頂に行くかと思うとワクワクします。宇土浦越は馬見、屏山の間にある峠。九州自然歩道の地図が設置され、ベンチで休めます。ここから樹林の中を進み、屏山山頂へ。なだらかな稜線を歩いていくと、今まで見なかった大きな岩がゴロゴロしていました。石灰岩でできた古処山の山頂が近いのです。国の特別天然記念物に指定されているツゲの原始林が広がります。ツゲの木々の厳かな雰囲気の中を通り、山頂に出ます。「岩の上からの展望は最高！」と言いたかったのですが、曇りどころか雨が降りそうな天候。そそくさと下山です。

階段が多く木製の階段から途中石段に変わります。霧雨のような状態で石段もぬれ、危ない状態。下り終えると林道終点広場に着きます。登山客と思われる車が数台止めてありました。ここで注意しないといけないのが、九州自然歩道は左側にある登山道を通っていること。一見何もないように見えますが、よく見るとベンチなどが設置されていて登山道ということを示しています。

再び登山道を進み、野鳥川を脇に下りますが、なだらかな土道のため、川の流れる音を聞きながらリラックスして下りていきます。約2キロで本覚寺に着きました。ここから秋月まではもうすぐ。温泉に入ることを楽しみに向かいました。

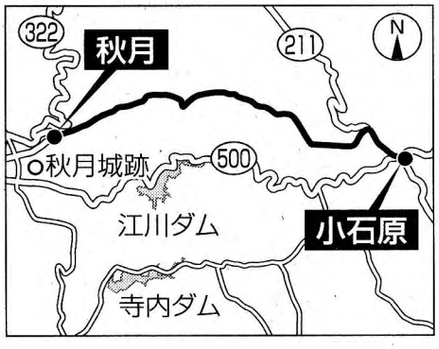
今回は、曇り空の中、馬見山、屏山、古処山の縦走ルート、約12キロ、10時間の旅でした。来月は秋月を抜け、福岡県筑前町の夜須高原へ向かいます。

（九州自然歩道フォーラム会員＝福岡市）

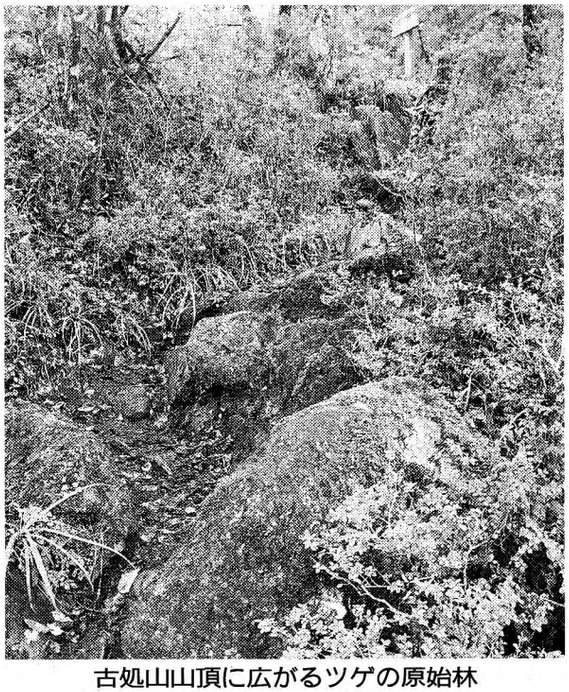
＝毎月第3木曜掲載

小石原―秋月

曇り空の下、3山縦走



馬見山・古処山へとつながる登山口



古処山山頂に広がるツゲの原始林

健